

# 【 資 料 編 】

- ・総社新農業会議設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ・総社新農業会議 委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ・会議等開催日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ・会議報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～21

## 総社新農業会議設置要領

(目的)

第1条 総社新農業会議（以下「会議」という。）は、生産、流通、加工、消費など、あらゆる分野が連携を深めることにより、希望と実りのある 総社の農業の新たなスタイルを構築することとし、活力ある農業の実現及び農業従事者の増加を目指すことを目的とする。

(事業)

第2条 この会議は、前条に掲げる目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 関係分野の連携強化による農産物の循環サイクルの確立に関すること。
- (2) 農業者の育成及び増加に関すること。
- (3) 農業者のやりがい向上する環境を整備すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、前条に掲げる目的を達成するために必要な事業（組織）

第3条 会議の委員は、30人以内とする。

2 委員は、会議の目的に賛同し、積極的に活動する団体及び機関等に所属する者のうちから、市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第4条 会議に、会長及び副会長各1名を置き、委員のうちから互選する。

2 会長は、会務を総理し、本会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(専門部会)

第5条 会議に会長の指定した専門の事項について調査、研究及び審議をさせるため、専門部会（以下「部会」という）を置くことができる。

2 部会の委員は、委員のうちから会長が指名する。

(会議の招集)

第6条 会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(会議の庶務)

第7条 会議の事務局は、総社市役所農林課内に置く。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要領は、平成21年5月27日から施行する。

# 「総社新農業会議」委員名簿

任期 平成 21 年 5 月 27 日～平成 22 年 10 月 31 日

	役職	氏名	機 関	所 属 名	備考
	会長	佐藤 豊信		岡山大学 理事・副学長	
部会名	副会長	小野 一郎		JA岡山西 代表理事組合長	
生産者部会	部会長	横溝 功	知識経験者	岡山大学	
	副部会長	日原 春幸	関係機関	倉敷農業普及指導センター	～H22.3.31
		島崎 正博			H22.4.1～
	委員	香西 達夫	生産関係	きよね有機の郷	
	〃	石原 修身	〃	生産者(稲)	
	〃	小西 義巳	〃	秦果樹生産出荷組合	～H21.10.12
		塩田 繁夫			H21.10.13～
	〃	渡邊 隆志	〃	三輪地区営農推進組合	
	〃	吉富 達也	〃	きびじ農業後継者クラブ	
	〃	阿部 憲三	流通関係	(有)漂流岡山	
〃	樂木 章子	消費	岡山県立大学		
〃	田邊 豊	商工会議所	総社商工会議所		
消費者部会	部会長	岸本 妙子	知識経験者	岡山県立大学	
	副部会長	小野 一郎	関係機関	JA岡山西	
	委員	劔持 将己	生産関係	吉備路もも出荷組合	
	〃	友野 愛子	〃	セルリー・メロン	
	〃	野口 了	〃	福井新田ナス生産組合	
	〃	花房 昌男	流通関係	(株)岡山丸果	
	〃	徳満 秀文	〃	徳満米穀(有)	
	〃	岡野 清子	消費	消費者	
地域活性化部会	部会長	駄田井 久	知識経験者	岡山大学	
	副部会長	廣田 道夫	関係機関	中国四国農政局	
	委員	守屋 節夫	〃	総社市農業委員会	
	〃	角田 尚樹	生産関係	生産者(稲)	
	〃	風早 政巳	〃	農業公社きびの里	
	〃	東 守	〃	原営農組合	
	〃	橋本 克弘	流通関係	(株)天満屋ストア	～H21.10.12
		角田 昌二			H21.10.13～
	〃	塚常 保	〃	サン直広場ええとこそうじゃ組合	
	〃	友田 優子	消費	消費者	
〃	吉澤 威人	商工会	総社吉備路商工会		
	顧問	村上 進通		岡山県農業協同組合中央会 会長	

会議等開催日程

年 月 日	会 議 名
平成21年 5月27日	設立総会 第1回全体会議
10月13日	第2回全体会議
平成22年 1月12日	第1回正・副部会長会議 <sup>(※1)</sup>
1月21日	第1回地域活性化部会
1月26日	第1回消費者部会
1月28日	第1回生産者部会
3月10日	第2回正・副部会長会議
3月23日	第2回生産者部会
3月25日	第2回消費者部会
3月26日	第2回地域活性化部会
4月23日	生産者部会（拡大部会） <sup>(※2)</sup>
5月21日	各部会長重点施策の提言について打合せ
6月15日～	事務局でビジョン素案作成
7月16日	各部会長あて ビジョン素案確認依頼
7月27日～	佐藤会長に経過報告，答申までの経過について事務局内協議
9月 1日	答申までの流れについて佐藤会長と協議
9月15日	第3回正・副部会長会議
10月21日	第3回全体会議・ビジョン答申

※1 正・副部会長会議とは、会長と3部会の部会長及び副部会長が、それぞれの部会の進捗状況や討議事項の方向付け等について協議したものを。

※2 平成22年4月23日に開催された生産者部会(拡大部会)は、第2回生産者部会で検討課題となった学校給食への地元農産物利用について、学校栄養主幹の守谷和代氏をアドバイザーに招き、協議を行ったもの。

## 総社新農業会議—総社新農業会議設立総会

総社新農業会議設立総会が開催されましたことをお知らせします。

この会議は、生産・流通・加工・消費など、あらゆる分野が連携を深めることにより、希望と実りある総社の農業の新たなスタイルを構築することを目指し、活力ある農業の実現及び農業従事者の増加を目的に各分野から参加をお願いし、平成21、22年度の2カ年に渡って、今後の総社市の農業について、話し合いを行っていきます。

### ■ 開催日時・場所

平成21年5月27日（水） 午後2時00分から午後3時40分まで  
総社市役所 2階会議室

### ■ 出席者

委員 会長, 副会長外26名  
事務局 片岡市長, 竹田副市長, 荒木政策監,  
高谷産業部長, 友野産業部次長, 中島農林課長  
外6名



### ■ 会議の内容

1 市長あいさつ

2 委嘱状の交付

3 会長・副会長の選出

会長—佐藤豊信氏（国立大学法人岡山大学 理事・副学長）

副会長—小野一郎氏（JA岡山西農業協同組合 代表理事組合長）

4 概要説明

5 協議事項

今後の進め方について、話し合いが行われました。

各委員から検討課題を提案してもらい、部会で協議していくことを確認しました。

## 総社新農業会議—第2回総社新農業会議

第2回総社新農業会議が開催されましたことをお知らせします。

この会議は、生産・流通・加工・消費など、あらゆる分野が連携を深めることにより、希望と実りある総社の農業の新たなスタイルを構築することを目指し、活力ある農業の実現及び農業従事者の増加を目的に各分野から参加をお願いし、平成21、22年度の2カ年に渡って、今後の総社市の農業について、話し合いを行っていきます。

### ■ 開催日時・場所

平成21年10月13日（火） 午前9時30分から午前11時30分まで  
総社市役所 総合福祉センター3階大会議室

### ■ 出席者

委員 会長, 副会長外25名  
事務局 片岡市長, 荒木政策監, 高谷産業部長, 友野産業部次長, 中島農林課長外7名



### ■ 会議の内容

- 1 市長あいさつ
- 2 委嘱状（新委員2名）の交付  
前任 後任  
秦果樹生産出荷組合 組合長 小西 義巳 → 副組合長 塩田 繁夫  
(株)天満屋ストア 生鮮食品部門課長 橋本 克弘 → 角田 昌二
- 3 第1回会議後のアンケート集計結果報告
- 4 総社新農業会議の基礎的考え方について説明
- 5 部会設置  
生産者部会（10名）、消費者部会（8名）、地域活性化部会（10名）
- 6 部会長・副部会長選出  
生産者部会 部会長 横溝 功, 副部会長 日原 春幸 担当者 国橋  
消費者部会 部会長 岸本 妙子, 副部会長 小野 一郎 担当者 横田  
地域活性化部会 部会長 駄田井 久, 副部会長 廣田 道夫 担当者 河原
- 7 今後の開催について説明  
今後の進め方については、正・副部会長会議、各部会で協議をしていき、平成22年8月（予定）の全体会議でまとめることを確認しました。

## 総社新農業会議―第1回 正・副部会長会議

第1回正・副部会長会議が開催されました。

生産者部会・消費者部会・地域活性化部会の正・副部会長が出席して、重要課題の提案や意見交換を行い、今後の総社新農業会議の方針などについて、話し合われたので、次のおり報告します。

---

### ■開催日時・場所

平成22年1月12日（火） 午前9時30分から午前11時00分まで  
総社市役所 西庁舎301会議室（西）

### ■出席者

佐藤総社新農業会議会長（岡山大学），正・副部会長（6名，うち1名欠席）

#### ○生産者部会

横溝 功（岡山大学），日原 春幸（倉敷農業普及指導センター）

#### ○消費者部会

岸本 妙子（岡山県立大学），小野 一郎（JA岡山西）

#### ○地域活性化部会

駄田井 久（岡山大学）

事務局 高谷産業部長，中島農林課長，外5名

---

### ■部会長会議の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

中山間地域の多い岡山県において、農業に関しては所得、後継者、食育、遊休地等問題が山積している。

政権交代に伴い劇的な政策の変化もあり、戸別所得補償制度など新たな政策も施行される。各種団体や農業者が連携し、共通の認識をもって総社市農業について議論をお願いしたい。

#### 2 協議

- ・各部会での検討テーマについて事務局から提案，説明。
- ・各部会で取り組むべき内容について正・副部会長からの提案や，重点的に取り組むべき事項などについて意見交換。

#### 3 その他

- ・事務局は，1つの部会に2つの取組みテーマを提案。
- ・協議（発言）内容をホワイトボードに記録，取りまとめ（資料1）
- ・佐藤会長から，今後の会議はリアルタイムでPC入力しプロジェクターで出力，会議中の意見を見ながら意見交換ができる環境整備を整えるよう事務局に要望された。

◎生産者部会

事務局提案	委員による具体的な提案	その他
<p>1. 持続性のある農業 (生産の持続性の維持)</p> <p>2. 後継者、技術の承継 (総合的な担い手対策)</p>	<p>委員による具体的な提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズに合った多様な農業生産を</li> <li>・環境にやさしい農業の推進を</li> <li>・生産基盤の整備，農地の活用推進を</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な担い手の育成，支援を</li> <li>・WCSの取組みを減反政策とのセットで考えてみてはどうか。三輪の営農組合に，営農組織の枠組みを超えた取組みができないか。</li> <li>・定年退職者の労働力の活用を</li> </ul>	<p>その他</p> <p>「食っていきける農業」をどうするか</p>

☆ 取りまとめ、今後の方針

- ・一つでもいいから成功事例を
- ・部会では提案項目の順位付けを行い協議，検討
- ・具体策の提案について重複するテーマが出て、各部会の特性を反映した取組みの提案



◎消費者部会

事務局提案	委員による具体的な提案	その他
<p>1. 地産地消 (地元農産物の利用)</p>	<p>学校給食とのリンク            ・食生活と直結した直売所づくりを            ・総社農産物のブランド化と販路拡大            ・売れる農産物の提案…何となく作物を作るのではなく戦略を持って、売れる農産物を栽培する。            ・市場流通に載らない農産物をJAの販売力で販売できないか。</p>	
<p>2. 農と食の理解 (食育など教育面との連携)</p>	<p>・食農教育を取り上げたい ⇒⇒⇒ 若い人が独立した際、総社の農産物の良さを理解できるように            ・外食にしろ内食にしろ、自分で栄養を考えて食事できることが大切</p>	

☆ 取りまとめ、今後の方針

- ・健康と食生活に必要で、かつ総社らしい物の提案

◎地域活性化部会

事務局提案	委員による具体的な提案	その他
<p>1. グループによる活動（地域の抱える不利な条件を補正し，支援する）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総社市で利用できる地域はすべて利用を</li> <li>東部・北部地域で直売所への出荷が困難となっている高齢者農家が多い地域での出荷サポートを</li> <li>・国分寺付近の郷土館が市に移管されることに伴い，付近の県有地を利用した景観作物の栽培をしてみてもどうか。</li> </ul>	
<p>2. 都市と地域の共生・対流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸別所得補償政策に関連して，生産調整を地域間で役割分担することは可能か？例え</li> <li>ば南部で米生産の拡大，北部では特産品作物の特化等。</li> <li>・農業への建設業の参入はできないか。</li> </ul>	

☆ 取りまとめ，今後の方針

- ・東部，北部地域でエリアを絞りモデル地区化，スポット的な取組み施策を検討
- ・検討された施策について部会メンバー，農業会議メンバーが担いうる役割について検討
- ・市内東部・北部地域で中核的モデル地区を作り，ひとつからたつても成功事例を作る
- ・部会ではそれぞれのメンバーの日常業務・取組みについて発表してもらい，部会内で情報のネットワーク化，面的集積を

## 総社新農業会議－第1回地域活性化部会

第1回地域活性化部会で、話し合われたことを報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年1月21日(木)

午後2時00分から午後4時00分まで

総社市総合福祉センター 教養研修室

### ■出席者

部会員 部会長外8名(欠席1名)

駄田井久(部会長), 藤田佳忠(中国四国農政局企画調整室, 廣田副部会長代理), 守屋節夫, 風早政巳, 東守, 角田昌二, 塚常保, 友田優子, 吉澤威人(欠席:角田尚樹)

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長, 外5名



### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・農業所得戸別補償, 後継者問題, 食育の問題等について言及。
- ・地域活性化部会でひとつ目玉となるような提案をしてほしい。

#### 2 協議

- ・総社市農業の特徴・現状の再確認。(駄田井部会長)
- ・地域活性化部会で検討するテーマの説明。(駄田井部会長)
- ・部会員からの普段の取組み, 地域活性化に関する取組事例の紹介, 情報交換等。
- ・地域活性化部会のゴール設定。
  - ① 地域格差を「利用」した, 「モノ」と「ヒト」が動くようなシステムのビジョン作成。
  - ② そのビジョンをひとつでも実行に移せるような, 条件有利・不利地域間の対流を作り出す方策の提言。

#### 3 その他

協議(発言)内容をリアルタイムでPC入力し, プロジェクターで出力。

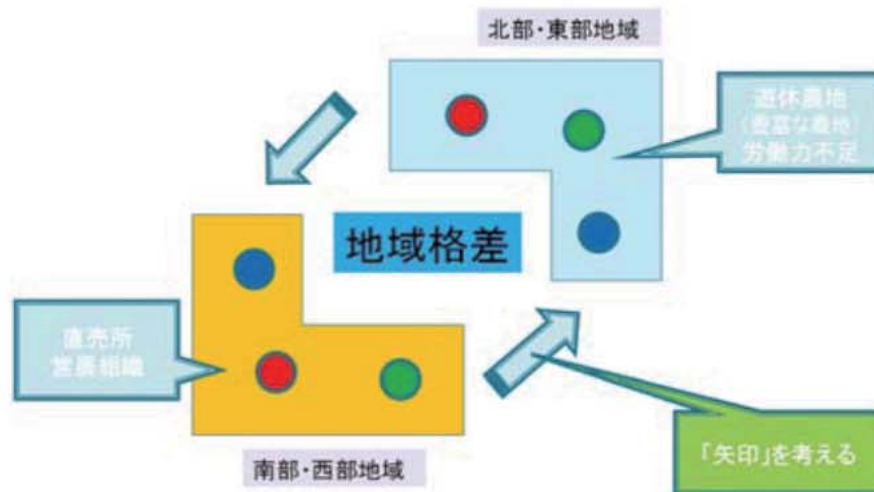
それを部会終了後すぐにペーパーで出力して各部会員に渡し, 次回部会までに各部会員が上記ゴールへの方策の提言を考えてくることとした。

## ○総社市農業の特徴・現状の再確認

(駄田井部会長によるプレゼンテーション)

- ・微増傾向の全体人口と減少傾向の農業人口
- ・営農に関する条件不利地域における遊休農地割合増の傾向

### 【地域格差の利用】に向けて 知恵を出しつくす



- ※ 地域格差を「是正」するのではなく「利用」という発想を
- ※ 異なる条件の地域間の対流を作り出す方策の提言が欲しい

## ○部会員からの取組事例等紹介

- ・機械作業受託による農作業の手助けと遊休農地の解消（農業公社きびの里）
- ・ソバ祭りなどのイベント開催（原営農組合）
- ・消費者を対象とした農業体験事業の実施（サン直広場）
- ・もてなしの館での市産品PRとリピーター確保（吉備路商工会）
- ・学生による矢掛町での農作業ボランティア（駄田井部会長）

### 《事務局提案》

- ・集落単位内小グループの協同作業，購入資材等を共有するグループづくり
- ・集落単位で地域間対流に乗るための集落リーダー発掘・育成・意識高揚

## 総社新農業会議―第1回消費者部会

第1回消費者部会で、話し合われたことを報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年1月26日(火)

午後2時00分から午後5時00分まで

総社市総合福祉センター 教養研修室



### ■出席者

部会員 部会長外8名(欠席なし)

岸本妙子(部会長), 小野一郎(副部会長),

劔持将己, 友野愛子, 野口了, 花房昌男,

徳満秀文, 岡野清子, 香西達夫

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長, 外5名

---

### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・農業所得戸別補償, 地産地消, 食育の問題等について言及。
- ・一人でも多くの農業者を増やすために, 部会からもよい提言をいただきたい。

#### 2 協議

- ・消費者部会での取組みテーマ案の説明。(事務局)
- ・部会メンバーの自己紹介と普段の取組みの紹介等。
- ・消費者部会のテーマ案集約
  - ① 5つのテーマ「ブランド化」「規格外農産物の有効利用」「イベントでのPR」「食生活提案型の直売所」「食農教育」。
  - ② 消費者部会として、「総社」の名前を売り込む, 実行性のある提案を!

#### 3 その他

協議(発言)内容をリアルタイムでPC入力し, プロジェクターで出力。

それを部会終了後すぐにペーパーで出力して各部会員に渡し, 次回部会までに各部会員が集約されたテーマへの提言を考えてくることとした。

## 総社新農業会議－第1回生産者部会

第1回生産者部会で、話し合われたことを報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年1月28日(木)

午前10時00分から午後0時00分まで

総社市役所 2階東会議室



### ■出席者

部会員 部会長外7名(欠席2名), 随員1名

横溝功(部会長), 日原春幸(倉敷農業普及指導センター所長), 香西達夫, 塩田繁夫, 渡邊隆志, 吉富達也, 阿部憲三, 田邊豊

(欠席: 樂木章子, 石原修身)

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長, 外5名

### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・生産者部会が一番のメインであると考えて。耕作放棄地, 後継者の問題等について言及。
- ・生産者部会の皆様のいろいろなご意見を取り入れていきたい。

#### 2 協議

- ・事務局の考えを説明。農業の問題はたくさんあるが, 事務局としては, 持続性のある農業, 後継者技術の継承等についてのご意見をいただきたいことを説明。(事務局)
- ・生産者部会で検討するテーマの説明。(横溝部会長)
- ・事前配布資料(正・副部会長, 事務局と協議して作成)に基づき, 部会員からの意見等を出してもらう。
- ・意見集約

- ① 農地, 就農に関する情報等相談窓口の設置, HP の開設。
- ② 積極的な農産物の売り込みが必要。
- ③ ブランド化が必要。量があればブランド化はできる。
- ④ 耕作放棄地は仕分けをし, 山林に戻すことも必要等。

マイナス面があっても委員からの意見は反映させるべき。

#### 3 その他

協議(発言)内容をリアルタイムでPC入力し, プロジェクターで出力。

それと議事録をもとに部会終了後, 部会長が訂正し, 事務局から各部会員に送付し, 意見等を集約して, 再度部会員に送付し, 次回部会までにさらに意見を考えてもらうこととした。

## 総社新農業会議—第2回正・副部会長会議

第2回正・副部会長会議で、話し合われたことを報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年3月10日(水)

午後2時00分から午後4時00分まで

総社市総合福祉センター 教養研修室

### ■出席者

会長, 正・副部会長 5名(欠席1名)

佐藤豊信(会長), 横溝功(生産者部会長),  
岸本妙子(消費者部会長), 駄田井久(地域活性化  
部会長), 日原春幸(生産者部会副部会長), 廣田  
道夫(地域活性化部会副部会長)

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長, 外6名



### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・農業所得戸別補償等について。
- ・地産農産物の利用促進について。
- ・「総社」のブランド化・名前の使用について。

#### 2 協議

- ・各部会の内容報告(部会長)

【生産者部会】重点プログラム別部会施策について説明。

【消費者部会】今後、部会で取組む5つの検討課題について説明。

【地域活性化部会】今後の部会での取組について、4つのキーワードを中心に説明。

- ・より具体的な役割分担と、何をすべきかをはっきりと決める必要がある。
- ・多様な検討項目が挙げられているが、優先順位をつけていく必要がある。
- ・総社市の行政としての立場・関わり方を盛り込むべきである。
- ・事務局でビジョン(案)を作成し、次回の正・副部会長会議で検討する。(資料を事前に送付)

#### 3 その他

- ・「きびみどり」を使用した新たな商品開発や、取組み事例について事務局から説明。
- ・協議(発言)内容についてはリアルタイムでPC入力し、プロジェクターで出力。

## 総社新農業会議—第2回生産者部会

第2回生産者部会で、話し合われたことを報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年3月23日(火)

午後2時00分から午後4時15分まで

総社市保健センター 1階運動指導室

### ■出席者

部会員 部会長外8名(欠席1名), 随員1名

横溝功(部会長), 日原春幸(倉敷農業普及指導センター所長), 香西達夫, 塩田繁夫, 渡邊隆志, 井川浩一(代理), 阿部憲三, 田邊豊, 石原修身(欠席: 樂木章子)

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長, 外5名



### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・3月議会でも農業に関する質問がたくさん出た。
- ・生産者部会の皆様のいろいろなご意見を取り入れていきたい。

#### 2 協議

- ・第2回正・副部会長会議で、施策の具体的な内容について検討するということになり、第1回生産者部会での協議事項をもとに、詳細な協議を行った。
- ・事前配布資料(正・副部会長、事務局と協議して作成)に基づき、部会員からの意見等を出してもらう。
- ・意見集約

- ① 新規就農に関する情報等相談窓口の設置。県で同様の組織があり、市の役割分担の明確化。速やかな情報提供体制整備。市独自の就農サポート協議会(仮称)。
- ② 新たな就農支援塾の開設を目指す。
- ③ 小規模農家のグループ化を推進し、直売所・学校給食等へ出荷。学校給食の担当者(栄養士等)と直接話をしてはどうか。
- ④ 組織活動への支援があればブランド化はできる。
- ⑤ 従来の枠にとらわれない、地域をプロデュースする人材を活用した新たな販路の拡大。若手生産者を中心とした、消費者や量販店に向けたセルフプロモーション。
- ⑥ 農商工連携の推進。摘果桃等を活用した商品化。

#### 3 その他

協議(発言)内容をリアルタイムでPC入力し、プロジェクターで出力。



## 総社新農業会議－第2回消費者部会

第2回消費者部会で、話し合われたことを報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年3月25日(木)

午後2時00分から午後4時30分まで

総社市保健センター 運動指導室

### ■出席者

部会員 部会長外6名(欠席2名)

岸本妙子(部会長), 小野一郎(副部会長),  
劔持将己, 友野愛子, 花房昌男, 岡野清子,  
香西達夫

(欠席:野口了, 徳満秀文)

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長, 外5名



---

### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・食料自給率等について言及。
- ・消費者の視点から、総社市の農業へ提言をいただきたい。

#### 2 協議

- ・第1回消費者部会のまとめと今後の課題。
- ・消費者部会重要検討項目(5点)について部会長から説明。
- ・重要検討項目について具体案を協議。  
☆消費者の視点から具体策をまとめる。

#### 3 その他

協議(発言)内容をリアルタイムでPC入力し、プロジェクターで出力。

第2回会議の内容を事務局でまとめ、全体会議へ中間報告として提出する。

## 総社新農業会議－第2回地域活性化部会

第2回地域活性化部会で、話し合われたことを報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年3月26日(金)

午後2時00分から午後4時00分まで

総社市保健センター 運動指導室

### ■出席者

部会員 部会長外8名(欠席1名)

駄田井久(部会長), 藤田佳忠(中国四国農政局企画調整室, 廣田副部会長代理), 角田尚樹, 風早政巳, 東守, 角田昌二, 塚常保, 友田優子, 吉澤威人  
(欠席: 守屋節夫)

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長, 外5名



### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・農業会議の結果を平成23年度予算に反映させたい。
- ・採算性の低さにより農業の後継者は不足している。

#### 2 協議

- ・前回の部会で設定した目標の確認。(駄田井部会長)
- ・地域活性化部会で検討するテーマの説明。(駄田井部会長)
- ・レンゲ米を例に挙げた各事業実施主体の利点の検討。
- ・地域独自の流通システムの検討。
- ・イベントの実施について。
- ・農業者集団の交流と事業実施主体の役割の明確化について。(詳細は 18 ページ)

#### 3 その他

協議(発言)内容をリアルタイムでPC入力し、プロジェクターで出力。

今回の協議内容をもとに部会長と事務局で具体的な取組(案)作成, 部会員に配布して内容を確認してもらう。

## ○各(実施)主体の役割アウトライン

(実施) 主体	長所・利点	具体的な取組
総社市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集と整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政面での支援制度</li> <li>・「モノ」と「ヒト」の地域内循環体制整備</li> </ul>
J A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場動向に関する情報</li> <li>・生産支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者と業者の仲介</li> <li>・商品差別化のための分析</li> </ul>
普及センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品差別化のための分析</li> </ul>
商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他産業との関係</li> <li>・市場ニーズの把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培技術のPRと普及</li> <li>・業者へのアドバイス</li> <li>・加工品、特産品の販売とPR</li> </ul>
農業公社きびの里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業のプロ集団</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培技術の確立</li> <li>・遊休農地と担い手の結びつけ</li> </ul>
営農組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業のプロ集団（地域リーダー）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約栽培</li> <li>・特産品の取組み</li> <li>・地域内耕作放棄地の解消</li> <li>・体験教室の開催</li> </ul>
一般の小売店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場動向に関する情報（地域外）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の場の提供</li> <li>・特産品のPR</li> </ul>
直売所・6次産業化グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への密着性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産品のターミナル的役割</li> <li>・消費者のトレンド把握</li> </ul>
個人農家	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産の現場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の提供</li> <li>・増産への取組</li> <li>・非農家と地域の問題を共有</li> </ul>
非農家・消費者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のトレンドそのもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントへの参加</li> <li>・農業の体験</li> <li>・生産現場へのニーズ投げかけ</li> <li>・農家と地域の問題を共有</li> </ul>

## 総社新農業会議－生産者部会(拡大部会)

生産者部会(拡大部会)の内容について報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年4月23日(金)

午後2時30分から午後4時20分まで

総社市総合福祉センター 教養研修室

### ■出席者

部会員 部会長外9名, 随員1名

横溝功(部会長), 島崎正博(副部会長)

香西達夫, 塩田繁夫, 渡邊隆志, 吉富達也

阿部憲三, 田邊豊, 石原修身, 樂木章子

アドバイザー 守谷和代

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長外6名



### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・個別所得補償制度, 耕作放棄地, 後継者問題等について。
- ・新農業会議での意見の集約を具現化していきたい。

#### 2 協議

- ・第2回生産者部会で検討課題となった学校給食への地元農産物利用について, 学校栄養主幹の守谷先生をアドバイザーに招き, 協議した。

#### 3 意見集約

- ・農家(購入先の確保, 単価の確保)と調理場(数量の確保, 時間の制約)を調整する流通体制を確立する。
- ・学校給食で使用できない規格外の農産物について出荷先を確保する。
- ・農産物を長期間使用するための貯蔵施設, 保存方法を検討する。
- ・小規模な給食提供機関(病院, 福祉施設)への販路拡大を検討する。

#### 4 その他

- ・協議(発言)内容をリアルタイムでPC入力し, プロジェクターで出力。
- ・当日の会議資料

## 総社新農業会議―第3回正・副部会長会議

第3回正・副部会長会議で、話し合われたことを報告します。

### ■開催日時・場所

平成22年9月15日(水)

午前10時00分から午前11時40分まで

総社市役所西庁舎 301 会議室(西)

### ■出席者

会長, 正・副部会長 5名(欠席1名)

佐藤豊信(会長), 横溝功(生産者部会長),  
岸本妙子(消費者部会長), 島崎正博(生産者部会  
副部会長), 渡邊則文(小野消費者部会副部会長  
代理), 藤田佳忠(廣田地域活性化部会副部会長  
代理)

事務局 高谷産業部長, 中島農林課長, 外5名



### ■部会の内容

#### 1 高谷産業部長あいさつ

- ・夏季の高温少雨等異常気象に伴う水稲, 野菜類の生産状況について。
- ・所得補償や鳥獣害の問題等, 平成22年9月定例市議会での農林関係一般質問について。
- ・ビジョン策定後, 設定した施策目標をいかに実行に移していくかについて。

#### 2 協議

- ・ビジョン(案)について概要を事務局から説明。
- ・各部会の部会長から, 部会での検討事項をビジョンにどう反映したか説明。

##### 【主要な意見】

- ・写真配置の見直しについて。
- ・字句の表現に, より一般的な表現が存在するものがある。今一度見直しを。
- ・各部会からの提言が, それぞれ補完関係にあるところがよい。

#### 3 今後の予定

- ・本日提案された意見等をもとにビジョン(案)を修正する。修正したビジョン(案)は一度会長, 正・副部会長に確認していただいたうえで, 各委員に送付し, 修正すべき箇所を9月末までに連絡していただく。
- ・第3回の全体会議は10月21日(木)午後を予定しており, 併せてこの日に農業ビジョンの市長への答申も行う。ビジョンの製本は当日に間に合うように, 各委員からの修正意見を取りまとめ, 最後に会長, 正・副部会長に確認していただいた後, 印刷発注をかける。

#### 4 その他

- ・協議(発言)内容についてはリアルタイムでPC入力し, プロジェクターで出力。

## 総社新農業会議－第3回全体会議・市長への答申

### 第3回総社新農業会議の開催概要

この会議では、完成したビジョンの委員への説明を行い、その後ビジョンを総社市長に答申します。

#### ■ 開催日時・場所（予定）

平成22年10月21日（木） 午後1時30分から  
国民宿舎サンロード吉備路

#### ■ 会議の内容

- 1 会長あいさつ
- 2 ビジョンの説明
- 3 ビジョンの答申